

2017 年度 事業報告

2016 年に世界の首脳を迎え開かれた伊勢志摩サミットに続き、2017 年 4 月には「お伊勢さん菓子博 2017」が三重県で開催されました。2 年続いて全国民が注目をした大イベントが無事、会員各位の万全な保安体制、法令遵守の徹底、テロ対策等により、成功裡の内に終えることができました。

このようなイベントを通して、LP ガスは可搬性に優れた安全便利なエネルギーとして広く消費者に受け入れられ、存在感を十分に発揮しました。

一方で、2016 年の電力小売全面自由化に続き、2017 年 4 月より都市ガスの小売全面自由化が始まり、エネルギー大競争時代に突入いたしました。

そうした中、2017 年 6 月より施行された改正液化石油ガス法省令への対応、また取引適正化指針の遵守など LP ガス業界も変革の年を迎えました。

引き続き、消費者から選択されるエネルギーとなるべく、自主保安活動チェックシートを活用した保安の強化、災害時における的確な対処、快適な生活に繋がるガス機器の提案など今年度も積極的に研修会、キャンペーンを企画し活動しました。

2017 年度事業活動及び委員会活動は以下のとおりです。

■需要開発委員会

需要開発委員会の主幹事業は、LP ガスの更なる需要拡大、需要創造を図り、LP ガスによる豊かな暮らし、快適・便利で安全な暮らしをお客様に提案することです。

「需要開発推進運動」を積極展開し、未来に向けた需要開発として三重県独自の取り組みも展開しました。

1. 需要開発推進運動の推進

(1) 食育活動「いただきます応援宣言 for kids」

未来を担う子供達に日本の食文化を伝えていくことを目的に、日本独特の文化とされる「いただきます」「ごちそうさま」のことばの意味やお箸の正しい使い方の出前授業を社会貢献活動として、地域協議会と共催で実施しました。

この事業は、2013 年度から 11 会場、664 名の園児さんが参加、本年度は以下の 2 会場で開催しました。

- ・ 10 月 18 日 (水) 伊賀協議会 伊賀市さくら保育園 園児 39 名
- ・ 12 月 13 日 (水) 四日市協議会 四季の里どんぐり保育園 園児 71 名

(2) 親子クッキングコンテスト三重実技大会

2014 年度から県立相可高校食物調理科の村林先生、生徒さんの全面協力を得て、親子で楽しく、LP ガスの炎で美味しい料理を作るコンテストを開催しております。今年度の代表は東海大会において「なかよし親子賞」を受賞いたしました。

第1号議案

(3) 需要開発セミナー

10月16日(月)、「BCP対策としてのLPガス提案」(講師：全L協 結城茂通事業推進部需要開発担当部長)、「災害対応バルク研修」(講師：I・T・O(株)名古屋支店 安部律男チーフマネージャー)の2つの研修と「食を通して人を育てる～若者の国際感覚を育てる～」(講師：三重県立相可高等学校 村林新吾教諭)の講演を開催しました。参加者は、60名でした。

2. Gライン活動

ガス体エネルギー、ウィズガスとしてガスの良さを訴えることを主目的に活動を展開してきました。

(1) 機器販売キャンペーン

Siセンサーコンロ(ガラストップ)、エコジョーズ、レンジフードを対象に機器販売目標達成に尽力いただきました。

機種	実績(台)	目標(台)	達成率(%)	前年比(%)
Siセンサーコンロ	2,673	2,710	98.6	100.7
エコジョーズ	3,755	3,480	107.9	109.9
レンジフード	396	380	104.2	105.3

(2) Gラインセミナー(愛知・岐阜・三重)

9月6日(水)、四日市都ホテルにおいて開催し、石井燃商(株)四日市営業所 山口晃永氏より事業者事例発表の後、特別講演 経済ジャーナリスト 財部誠一氏を講師に招き講演を実施しました。(参加者218名、内三重県110名)

(3) Gライン研修会(愛知・岐阜・三重)

- ・ 提案力向上研修会(2日間) 参加者15名(三重県4名)
- ・ 事業者動向・サービス勉強会 三重県開催(2部構成) 参加者13名

3. 給湯器ワンランクアップキャンペーン

今年度、全L協が需要開発推進運動の取り組みとして給湯器の高効率化推進、ガスの需要拡大に繋げるため、キャンペーンを企画しました。当委員会でもキャンペーン趣旨に賛同し、広く会員へ呼びかけ、販売促進の一助として活動に取り組みました。

〈応募結果〉 応募件数 177件(全国 4,944件)、当選数 34名(全国 1,000名)

■流通委員会

流通委員会の主幹事業は、小売に起因する諸問題ではありますが、将来の需要拡大のための社会貢献や消費者からの相談事業など幅広く、能動的に活動しました。

第 1 号議案

1. 業界の発展基盤の強化

(1) お客様相談所

お客様相談所を継続開設し、消費者からの多様な相談に応え、業界への理解と地位向上を目的に事業を行いました。

- ・ 相談件数 61 件 (前年度比 △ 1 件)
(主な増減は、販売店の移動 +13 件、設備関係 △5 件、保安関係 △10 件)

- ・ お客様相談所委員会の開催

1 月 25 日 (木)、プラザ洞津で消費者代表として三重県地域婦人団体連絡協議会を招いて開催しました。また、(株)ノーリツ三重営業所より「ガス機器を取り巻く環境」と題して、講演を実施しました。

(2) 詐欺・テロ対策などの防犯啓発

三重県警察本部と連携協力し、多発する詐欺被害やテロ対策についての防犯チラシを県内で 277,200 枚配布し、県民防犯に協力しました。

(3) 省令等の一部改正・取引適正化ガイドラインに係る Q & A 及び取引適正化指針の改訂

資源エネルギー庁は、LP ガス料金の透明化に向けた液石法省令等の改正、取引適正化ガイドラインを制定しましたが、さらに実効を上げるべく改訂を実施しました。また、エルピーガス振興センターより、料金公表状況についての調査と料金についてのリーフレット発行がありました。

これらに対応すべく、各種会議・研修会等を通じて内容の周知徹底をはかりました。

(4) 広報活動

3 県広報事業 (三重県、愛知県、岐阜県) として、LP ガスのテレビ CM、新聞掲載を継続実施しました。

- ・ テレビ CM ⇒ 在名 4 局 15 秒スポット 292 回

実施期間 (2017 年 10 月 ~ 2018 年 1 月)

- ・ 新聞掲載 ⇒ 中日新聞朝刊 半 5 段 10 月 10 日 (LP ガスの日)

■保安委員会

保安委員会の主幹事業は、「保安なくして事業なし」との言葉通り、自主保安をさらに高度化し、信頼され、愛され、選ばれる業界・選ばれる事業者を目指すことをテーマに以下の事業を推進しました。

1. 保安の確保の充実

(1) 保安啓蒙活動補助金事業

各地域における保安啓蒙活動への支援として事業補助制度を設けており、今年度は 9 地域、13 事業で活用いただきました。従来からの取り組み事業に加えて、NTT タウンページが発行する防災タウンページに保安啓蒙記事を掲載するなど、積極的に保安啓蒙活動に取り組みました。

第 1 号議案

(2) LPガス安全応援推進運動 “すべてはお客様の安心のために”

この事業の目的は、「お客様が安心してLPガスをお使いいただける事」。そのために、これまでに実施してきた事故防止対策等の検証を行うとともに、地域性を踏まえた対策を実施することです。

その一環として「自主保安活動チェックシート」を活用し、項目ごとの強い点の一層の向上と弱い点の改善策を図り、事故防止対策に繋げることにしました。

- ・ 回収率 三重県 91.3% (全国平均 86.6%)

(3) 地域保安指導事業

保安高度化運動として、今年度も5会場で保安関係講習会を実施し、保安教育の一環として活用いただき、243名が受講しました。

開催日	開催地	講習内容	受講者
10月 5日	四日市市文化会館	保安業務指導	60名
10月 12日	県営サンアリーナ	保安業務指導	63名
11月 7日	熊野市市民会館	保安業務指導・立入調査報告	33名
11月 9日	エルピーガス会館	保安業務指導・立入調査報告	64名
11月 14日	エルピーガス会館	保安業務指導	23名

保安関係講習会に併せて新コスモス電機(株)、理研計器(株)によるガス検知器、CO測定器の無料診断を実施しました。

■災害対策等委員会

災害対策等委員会は、喫緊と想定される「南海トラフ巨大地震」などの対策整備が急務であり、地域協議会とともに県及び関係機関との連携、中核充填所との連携整備を中心に能動的に活動しました。

1. 災害時における対応強化

(1) 災害時対応機器備蓄

この事業は6年目に入り、本年は四日市市に災害時対応機器を備蓄し、地域社会貢献活動として実施しました。

年度	備蓄先
2012年	尾鷲市 尾鷲市防災センター 南伊勢町 旧町立五ヶ所中学校
2013年	熊野市 市立木本中学校 鳥羽市 旧鳥羽小学校跡地
2014年	伊勢市 光の街コミュニティーセンター 紀北町 紀北町役場
2015年	志摩市 志摩市鵜方防災児童公園 大紀町 錦支所
2016年	松阪市 鈴の森公園駐車場 明和町 明和町総合体育館
2017年	四日市市 南部拠点防災倉庫 —

第 1 号議案

(2) 災害対策の整備

地域協議会ごとにLPガス災害対策要綱地域協議会編、災害対策地域協議会編行動表の策定状況、運用状況についてバラツキが見られたため、再度、協議会会員への周知徹底も含めて取り組むこととしました。

■中核充填所委員会

中核充填所委員会は、東日本大震災の教訓を活かすことを目的に石油の備蓄の確保等に関する法律を改正し、「災害時石油ガス供給連携計画」を地域単位で義務付けて、自立供給機能としての中核充填所を全国に344箇所、県内11箇所を指定し整備しました。

それに伴い、災害時の核となることを目指し、行政や関係機関、第4地域（東海3県、北陸2県）や全L協とも連携し活動してきました。

1. 災害時石油ガス供給連携計画に基づく実施訓練

(1) 三重県中核充填所稼働訓練

10月19日（木）、ダイヤ燃商(株)中勢充填所を会場として、中核充填所機能を稼働させる訓練を実施し、中部経済産業局、三重県、津市、久居消防署、津南警察署、地域自治会関係者など多くの方々にも機能を見学いただきました。

また、愛知県LPガス協会からも副会長、中核充填所委員長をお招きしました。

(2) 第4地域連携情報伝達訓練

11月28日（火）、経済産業省の実施勧告を受けて、三重県南方沖を震源とする震度7の地震発生を想定した第4地域情報伝達訓練を実施しました。

(3) 石油ガス地域防災対応体制整備事業（中核充填所整備補助金事業）

各地域における協議体制の整備等及び地域防災訓練実施を行うための事業費補助金（171万円）を受け、稼働訓練機材及び防災機器を整備しました。

(4) 高圧ガス実験・訓練

10月17日（火）、三重県消防学校において、消防関係者等に高圧ガス災害の活動に活かしていただくことを目的に容器からのガス漏洩時における消火訓練、及び防災工を用いた警戒区域の設定などの訓練、並びに災害時活用できるLPガス発電機の展示や稼働を実施しました。

■総務委員会

総務委員会では、団体として重要な「コーポレートガバナンス（企業統治）」を重視し、健全な運営を目指してまいりました。

(1) 日本赤十字社三重県支部との災害時協力

10月19日（木）に実施した中核充填所稼働訓練では災害時協力協定に基づき、炊き出し訓練の指導をお願いするなど、平常時からの連携関係を確認しました。

第 1 号議案

(2) 会員サービスの拡充

L Pガス販売における付加価値サービスとして「L Pガス協会安心サポート・駆けつけ新選組」の制度導入について検討し、理事会の承認を得て平成 31 年 1 月からの実施に向け、運営会社であるジャパンアシストインターナショナルと打合せを行い契約しました。

(3) その他事業の促進

その他事業 1 (斡旋物販売事業)

その他事業 2 (教材販売事業)

その他事業 3 (教育事業)

その他事業 4~5 (全L 協L Pガスライフ事業) を積極的に取り組みました。

■青年委員会

青年委員会では、次世代を担う後継者を中心に若者らしく自由闊達な活動を期待しておりますが、各地域で会員不足で活動ができない事態が起きております。そのような状況下、青年委員会では現実的な問題に対する研修活動等に積極的に取り組みました。

(1) 研修会「同業に学ぼう！」 三重県卸売協議会との共同開催

この研修会は、次代に飛躍するチャンスを活かすべく、変化の風をとらえ、いかにエネルギー間競争で存在感を示し、勝ち残るかをテーマに研修会を毎年開催しております。3月5日(月)、第5回目として下記の通り実施しました。

- ・ 災害時の食事について防災士の資格を持った講師を招き、「ソナエノゴハン教室」をテーマに実演を交えた講演
- ・ 愛知県L Pガス協会の青年委員長を招いて、「愛知県協会の活動」「同業者間の競合状況」をテーマとした講演

講演終了後、「L Pガス協会安心サポート・駆けつけ新選組」の制度について、ジャパンアシストインターナショナルの担当者による説明会を実施しました。

(2) 火育活動「炎に学ぼう！」

炎の文化継承を目的に下記の通り、火起こし体験等の出前授業を実施しました。

- ・ 7月11日(火)、いなべ市立阿下喜小学校で開催 参加者 24名
- ・ 11月16日(木)、尾鷲市向井小学校、三木小学校、三木里小学校、賀田小学校の4校合同での開催 参加者 21名

児童及び学校関係者から好評を得て、来期も実施する計画です。

■公益目的支出計画に定めた主な実施事業

1. 公益目的財産額と公益目的支出計画実施状況

① 認可時公益目的財産額 112,800,235 円 (2013年6月確定)

公益目的支出計画の実施期間 16年間

② 期首公益目的財産額 66,867,374 円

第 1 号議案

当期公益目的支出額	9,752,059 円
③ 期末公益目的財産額	57,115,315 円

(1) 継続事業 1 災害対策事業

(被災時の初期対応及びライフラインとしてのLPガスの復旧支援事業等)

① 災害時対応機器備蓄事業

- ・ 3月9日 四日市市/南部拠点防災倉庫

(2) 継続事業 2 広報事業

(機器の適正な管理による保安の確保、エネルギーの賢い使用方法等について紹介)

① 3県広報事業(愛知県、岐阜県、三重県共同事業)

10月~1月 在名4局テレビCM放送、新聞掲載など

② 食育活動「いただきます。応援宣言 for kids」

- ・ 10月18日(水) 伊賀協議会 伊賀市さくら保育園 園児39名
- ・ 12月13日(水) 四日市協議会 四季の里どんぐり保育園 園児71名

③ 火育活動「炎に学ぼう！」

- ・ 7月11日(火) いなべ市立阿下喜小学校 5年生 24名
- ・ 11月16日(木) 尾鷲市向井小学校、三木小学校、三木里小学校、賀田小学校
の4校合同開催 5、6年生 21名

(3) 継続事業 3 啓蒙事業

(広報事業との連携事業、展示会や講演などによる保安啓蒙活動)

① 地域保安啓蒙活動補助金事業

9地域協議会 13事業活動に補助金として支援

② 全国親子クッキングコンテスト

- ・ 10月28日(土) 三重実技大会 県立相可高校食物調理科
- ・ 12月10日(日) 東海大会 東邦ガス栄ガスビル

以上